



新庁舎建設事業 NEWS

vol.
13

新庁舎建設事業の進捗状況をお知らせします。

新庁舎建設「基本設計」の概要についてお知らせします。

基本設計がまとまりましたので、その概要について新庁舎事業NEWS⑬と⑭でお知らせします。



新庁舎建設基本計画にかかげる新庁舎建設のテーマ「人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎」の実現を目指し、5つの基本方針をもとに、庁舎と文化会館機能の複合化により新庁舎を整備します。

北側外観イメージ

全体計画

人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎を目指して

●人と人、人とまちをつなぐ庁舎

- ・協働のまちづくりの拠点
- ・市民が気軽に集える場「(仮称)市民交流プラザ」や子どもたちを育む「(仮称)子どもの遊び場」を設置
- ・コミュニケーションボイド(吹抜空間)やガラスを用い上下階や建物内外をつなぐ、明るく開放的な空間

●自然をつなぐ庁舎

- ・シンプルな矩形(長方形)や水平ラインで建物のボリュームを抑え、山並みやスカイラインなど富良野らしいの自然と調和した外観

建物概要

建設位置	富良野市弥生町1番1号		
敷地面積	12,654㎡		
構造	鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨鉄筋コンクリート造、(耐震構造)		
階数	地上4階	建物高さ	20.9m
建築面積	3,206.14㎡	延床面積	8,713.73㎡
駐車台数	来庁者用142台 公用車用40台		



南側外観イメージ

施設計画

● 5つの基本方針に基づく施設計画

1 防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎

- ・耐震構造を採用、非常時のライフライン（3日間）確保。1階床レベルを0.5m嵩上げ、重要設備の上層階設置で浸水リスクを回避。1階と2階以上で設備系統分け。建物安全性と業務継続性を確保。

2 市民が利用しやすい庁舎

- ・分散している庁舎機能を集約。市民窓口をワンフロアに配置、「総合窓口」を1階に設置。
- ・市民活動、窓口・執務室、議会エリアを区分し市民が利用しやすい階構成。

3 人や環境にやさしい庁舎

- ・各階に多目的トイレ、段差のない床、授乳室など整備。利用者にやさしい庁舎。
- ・地中熱やコミュニケーションポイド（吹抜空間）による自然光・通風で自然エネルギーを活用。

4 機能性・効率性・経済性を重視した庁舎

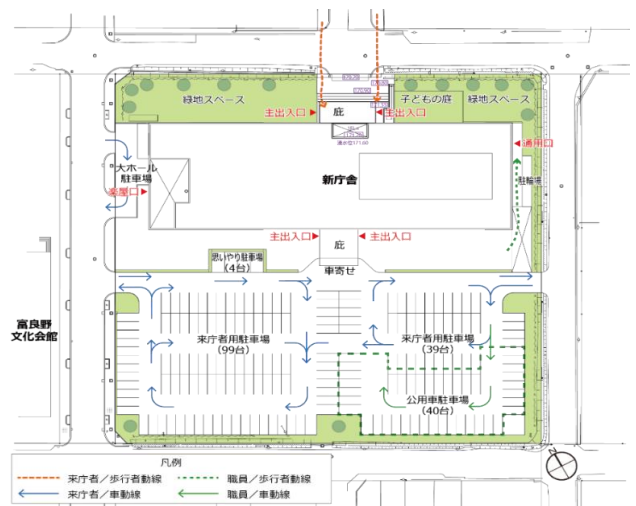
- ・汎用性の高いコンパクトな執務室。耐久性・メンテナンス性に配慮し、長寿命化や維持管理コスト抑制。

5 市民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎

- ・市民が気軽に訪れて集える場「（仮称）市民交流プラザ」を設け、大会議室等の貸館を1階に集約。
- ・次世代を担う子どもたちを育む環境づくりをめざし「（仮称）子どもの遊び場」を1階に配置。

配置計画

- ・現庁舎を使用しながら新庁舎を建設するため、新庁舎は敷地北側に配置。
- ・歩行者及び車での来庁者に配慮、北側と南側に主出入口を設置。
- ・敷地南側に駐車場を集約。主出入口付近に思いやり駐車場、建物東側に駐輪場を設置。



断面計画

- ・階高は、1階を4.5m、2階以上を4.0mに設定。
- ・市民活動エリア、窓口・執務室エリア、議会エリアを区分したわかりやすい階構成。
- ・洪水リスク対策として、1階床レベルを0.5m嵩上げ。高低差部分はスロープを設置。
- ・重要設備の上層階設置で浸水リスクを回避。1階と2階以上で設備系統分け。建物安全性と業務継続性を確保。

